

令和6年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立東伏見小学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。	59.7%	・話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができている。 ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができている。 ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができている。	・文章を書く際に、事実と感想、意見とを区別して書くなど、書き表し方を工夫する活動を日常的に取り入れていく。 ・特に学習する文字数の多い3・4学年の漢字について復習する活動を定期的に取り入れていく。
	目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。	51.6%		
	文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。	66.1%		
	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	45.2%		
算数・数学	計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。	51.6%	・数量の関係を、□を用いた式に表すことができている。 ・直方体の見取図について理解し、かくことができている。 ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できている。 ・円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができている。	・数量関係をもとにした計算問題について、各学年の発達段階に応じて意識的に指導する。 ・問題を解決するために、条件や情報を解釈し、数学的に表現する活動を各単元で取り入れていく。
	球の直径の長さや立方体の一面の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる。	37.1%		
	折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。	45.2%		
	示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる。	43.5%		